

固体飛跡検出器研究会 (神戸大学 2011) プログラム

日時 2011年3月14日(月)・15日(火)

場所 神戸大学深江キャンパス4号館4102号教室

3月14日(月)

開会挨拶 山内 知也 (神戸大院海事科学) 13:00

セッション1 検出器応用 座長: 三角 尚治 13:10 - 13:20

(01-23) CR-39 を用いた後方散乱粒子による高強度イオンビーム簡易診断法
金崎 真聡 (神戸大院海事科学)

セッション2 検出器基礎 座長: 三角 尚治 13:20 - 14:20

(02-19) 新しい固体飛跡検出器としてのポリイミド薄膜
海部 俊介 (神戸大院海事科学)
(03-20) PET 薄膜中重イオントラックの構造分析
森本 彰 (神戸大院海事科学)
(04-21) エッチピットの多次元構造解析による飛跡検出器の応答特性
服部 篤人 (神戸大院海事科学)

coffee break 14:20 - 14:30

セッション3 中性子計測I 座長: 鶴田 隆雄 14:30 - 14:50

(05) 原子核乾板による高エネルギー中性子計測
森島 邦博 (名古屋大学物理F研)

coffee break 14:50 - 15:00

招待講演1 座長: 鶴田 隆雄 15:00 - 16:00

(06) 原子核乾板の技術革新と新たな応用
青木 茂樹 (神戸大院人間発達環境学)

セッション4 PADC 中潜在飛跡 座長: 藤井 正美 16:00 - 17:40

(07-08) イオン照射した CR-39 固体飛跡検出器の表面特性評価
前田 佑介 (神戸大院海事科学)
(08-09) PADC 飛跡検出器におよぼす高エネルギー炭素イオン照射効果
森 豊 (神戸大院海事科学)
(09-11) イオン照射した PADC 検出器中に生成するフリーラジカルの ESR 分光分析
市村 紘資 (神戸大院海事科学)

(10-07) 二酸化炭素を吸蔵させた PADC 検出器の特性評価

深尾 裕亮 (神戸大院海事科学)

3月15日 (火)

13:00 - 13:20

(11-16)多層構造ラジエータを用いた中性子線量計レスポンスの制御

梶原 将司 (神戸大院海事科学)

公開講演 (一般からの参加を受付)

座長: 藤井 正美

13:20 - 13:50

(12-17) マリー・キュリーの考えたこと

山内 知也 (神戸大院海事科学)

coffee break

13:50 - 14:00

招待講演 2

座長: 山内 知也

14:00 - 15:00

(13-18) レーザー駆動粒子加速研究における固体飛跡検出器の利用と課題

福田 祐仁 (JAEA 関西光科学研究所)

セッション5 中性子計測 II

座長: 山内 知也

15:00 - 15:40

(14-15) CR-39 の異なる中性子エネルギーに対する応答特性

藪田 和利 (近畿大学院・関西労災病院)

閉会挨拶

講演時間等について

招待講演 (60分) 講演時間 45分 質疑応答 15分 (第1鈴 40分 第2鈴 45分)

一般講演 (20分) 講演時間 15分 質疑応答 5分 (第1鈴 10分 第2鈴 15分)

公開講演 (30分) 講演時間 25分 質疑応答 5分 (第1鈴 20分 第2鈴 25分)

今年、マリー・キュリーがポロニウムとラジウムの発見の功績でノーベル化学賞を受賞してから100年目です。ユネスコの呼びかけにIUPACが応える形で世界化学年 (International Year of CHEMISTRY 2011) が祝われます。第26回固体飛跡検出器研究会も世界化学年の正式事業です。

<http://www.chemistry2011.org/participate/activities/show?id=415>

今回の公開講演は同事業にちなんで特別に開催するもので、一般からの参加を受け付けています。



International Year of
CHEMISTRY
2011

以上